

事業所名

ピコ

支援プログラム

作成日

2024年

9月

21日

法人（事業所）理念		乳幼児から高齢者まで障がいのある人がともに社会の一員として可能な限り充実した普通の生活を送ることができるように共に支えあう心” 共助の精神” をモットーに身体・精神の両面から一視同仁の援助をおこなってまいります。										
支援方針		1. 利用児の意思及び人格を尊重し、適切な支援を提供することを目的とする。 2. 利用児が日常生活における基本的動作及び知識機能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、お子様の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。										
営業時間		月～金 土	9 9	時 0 0	分から	17 15	時 0 0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	<p>(生活に必要な基本的生活習慣の確立) お子様の状況に合わせて絵カード等の視覚支援・用具の工夫・環境設定などを行いながらお子さま自身で取り組めるよう支援します。</p> <p>(食育の推進) 調理活動を通して食への興味関心を高める活動、給食やおやつなど楽しく食事ができるようお子さまの発達段階に応じて形状や食具の設定、環境整備を行い健康な生活の基本となる食を営む力の育成を図ります。</p> <p>(健康状態の維持・改善) ご家庭と連携を図り、利用児の健康状態を把握し体調管理を行うとともに手洗い・うがいといった病気予防のための生活習慣を身につけられるよう支援します。</p>										
	運動・感覚	<p>(姿勢と運動・動作の基本的機能の向上) 様々な遊びを体験する中で楽しみながら指先機能の向上、ボディイメージの確立、動作に必要な身体機能、運動機能の向上が図れるよう支援します。また、発達段階に応じ個に応じたスモールステップで取り組み、成功体験を積み重ねていけるようにしてまいります。</p> <p>(保有する感覚の総合的な活用及び特性への対応) 個々の感覚の特性を理解し、適切な補助具の使用や環境調整を行うことで感覚の発達を促すとともに感覚の偏り（過敏・鈍麻）に配慮した環境調整を行います。</p>										
	認知・行動	<p>(認知の発達と行動の習得) 小集団での遊びや活動を通して感覚を充分活用した認知機能の向上を図るとともに環境から必要な情報を取得、選択し行動へと繋げていけるよう支援します。</p> <p>(概念形成の習得) 具体物や視覚的な支援を活用しながら実際にやり取りしていく中で数量や大きさ、色などの概念形成の習得を図れるよう支援します。</p> <p>(行動障害への予防及び対応) 小集団での遊びや活動を通して感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害について具体的な場面をとらえながら適切行動の習得及び予防ができるよう支援します。</p>										
	言語 コミュニケーション	<p>(言語の形成及び活用・言語の受容及び表出) 具体物等を用いて言葉と実物を結び付けながら言葉の獲得、理解を深めながら発語を促していけるよう支援します。</p> <p>(コミュニケーションの基礎能力の向上) 遊びを通して実場面をとらえ、個々の発達に応じた意思伝達の手段を獲得し他者と交流を深めるためのコミュニケーション力の基礎能力の向上を図れるよう支援します。</p> <p>(コミュニケーション手段の選択と活用) 職員やお友達の動作を模倣するなど実際のやり取りを行う中で個々の発達に応じて指差し、身振り、サイン、文字ボード等を用いて自分の要求などの意思の伝達ができるよう支援する。</p>										
	人間関係 社会性	<p>(遊びを通じた社会性の発達) 遊びの中で人の動きを模倣することにより社会性や対人関係の芽生えを支援します。また、発達段階に応じて適宜職員が仲介したり、環境の設定を工夫しながら一人遊びから共同あそびといった遊びの発達を促していけるよう支援します。</p> <p>(自己の理解と行動の調整) 個々の発達特性を理解し、感覚、運動機能を高めながら苦手を軽減していくとともに環境調整を行い個々のペースで取り組めるよう支援します。</p> <p>(仲間づくりと集団への参加) 適宜職員が仲介しながら小集団での生活でのふれあいやり取りを通して集団での過ごし方や一緒に過ごすことの心地よさを感じられるようにし関係性を深めていけるよう支援します。</p>										
家族支援	発達特性や言語理解などそれぞれのお子様の発達状況やご家庭での様子（かかわり方、環境等）を丁寧に聴き取り情報共有を図りながら適宜助言等を行ってまいります。また、お子様、ご家族の方が安心して通園していただけるよう信頼関係の構築をはかってまいります。						移行支援		(保育園等との連携) 併用通園先との情報共有・相談援助 幼保連絡会の実施（年2回） (移行支援) 保育園・幼稚園・小学校等、移行先との情報共有・相談援助			
地域支援・地域連携	(関係者・関係機関との連携) 利用児に関わる関係者及び関係機関との情報共有を図り連携した支援が行えるようにします。(併用先の保育園・幼稚園等と年に2回連絡会を実施) また、就学時には就学先との情報共有を図り連続した支援が継続できるようにしてまいります。						職員の質の向上		課内職員勉強会の実施（毎月1回） 毎日の朝礼 職員会議等での勉強会や個々のケースにおける事例の情報共有			
主な行事等	お誕生日会（毎月1回）・親子遠足・運動会・夕涼み会・夏祭り・発表会・みかん狩り・風揚げ大会・ひとつ大きくなった会・卒園式・季節行事（端午の節句・たなばた・お月見・クリスマス・節分・ひな祭り）											